

今後の新型コロナウイルスワクチン接種体制等について

1 ワクチンの供給状況、今後の見込み

(1) これまでの供給状況

ファイザー社製ワクチンについて、これまで国においては、各クール（2週間毎）約13,000～16,000箱（※1箱=1,170回分）のペースで配分が行われ、本市においても6月末までに、全高齢者分となる約60万回分のワクチンが配分された。

(2) 今後の供給見込み

一方、7月以降については、当該ワクチンの供給量の減少が見込まれている。

具体的には、7～9月は「各クール10,000箱程度」との見通しが示されており、本市への配分量も、4割程度の減少が見込まれる。

また、モデルナ社製ワクチンについても、職域接種の新規申請が停止されるなど、不足見込みが伝えられている。

2 今後の接種体制について

(1) 基本的な考え方

- ①7月中 : 予定どおり、接種を実施
- ②8月以降 : 一部接種について、接種量を抑制

(2) 接種類型別の具体的対応

①集団接種（ファイザー）

- ・今後、対象が現役層に移っていくことも念頭に、8/2（月）以降、1回目予約は「土、日（午前・午後）」の3区分で受付を行う。

※2回目予約の方が接種を終える3週間後（8/23（月））以降は、当面土日のみの実施（=接種量：現行の6割）となる。）

②個別接種（ファイザー）

- ・8/2（月）以降、接種の上限量を概ね6割とする。

※接種量が一定規模以下の医療機関については接種量を維持するとともに、その他の医療機関は接種量を5割程度引き下げるなど、接種規模に応じて一部調整を行う。

③施設接種（ファイザー）

- ・高齢者施設、障害者施設（いずれも入所施設）については、予定どおり実施する。

④保育士、教職員等を対象とした優先接種（モデルナ）

- ・ 予定どおり実施する（7/9（金）～9/7（火））。

3 8月以降の予約枠開放期間、年代別の予約開始時期について

(1) 予約枠の開放期間 「8・9月分（2ヶ月分）」を開放

これまで、ワクチンの供給見込等の理由により、基本的に「3週間先まで」の開放としてきたが、8/2（月）に「8・9月分（2ヶ月分）」の予約枠を開放する。

(2) 年代別の予約開始時期

59歳以下の予約受付は8/2（月）に開始するが、より早期に、幅広い年齢層へ接種機会を提供することで、市全体の接種の迅速化を図る。

※流行主体が変異株へと変化する中、感染割合が比較的高いとされる若年層への接種の必要性もより高まっていることから、あらゆる世代へ迅速に接種を行うべく、早期に対象年齢を拡大することとしたもの。

<スケジュール>

予約開始日	対象年齢
8月2日（月）	50歳～59歳の方
8月5日（木）	40歳～49歳の方
8月9日（月）	16歳～39歳の方